

# 小学校放課後の新たな学びの場 「のびるんdeスクール」

～子どもの可能性は無限大～

## はじめに

豊橋市は公立の小学校 52 校、中学校 22 校、児童生徒数は小中合わせて約3万人の、愛知県東部に位置する中核市です。

本市小学校における放課後は、令和2年度まで過去60年以上にわたり陸上、水泳、球技、体操、吹奏楽等の部活動をしていました。また、児童クラブに関しては、昭和52年度から父母会により民営児童クラブが発足し、その後、民営児童クラブのない校区を補うかたちで平成5年度より公営児童クラブが設立しました。令和5年度現在、民営児童クラブが40クラブ、公営児童クラブが58クラブ開所しています。そのほか、放課後子供教室事業としては、運営を地域に委託し実施する「放課後子供教室」、「地域いきいき子育て促進事業・トヨキースクール」などがあります。そして、令和4年度から、部活動廃止により生まれた放課後の時間を活用し、放課後の新たな学びの場として、「のびるんdeスクール」が市内全小学校で始まりました。

## 1. のびるんdeスクールの 取り組みについて

### (1) 歩み

令和2年度は2校で実施し、令和3年度は12校に実施校を拡大、令和4年度の2学期より市内全52校で実施を開始しました。

### (2) 事業目的

「のびるんdeスクール」は、以下2つの事業目的のもと、

遂行しています。

- ① 大人との交流及び子ども同士の交流による健全育成、社会性の向上
- ② 多様な体験活動による子どもたちの能力発掘

### (3) 「のびるんdeスクール」の具体的な内容

#### ① 体験活動の重視

当初は、週1回程度の体験活動を実施していましたが、事業目的②にもあるように、多様な体験活動を子どもたちに経験してもらうことが本事業の目的を果たすと考え、実施日はすべて体験活動を実施するシステムにしました。



【スポーツ】トランポリン教室



【カルチャー】ジャンベ太鼓教室

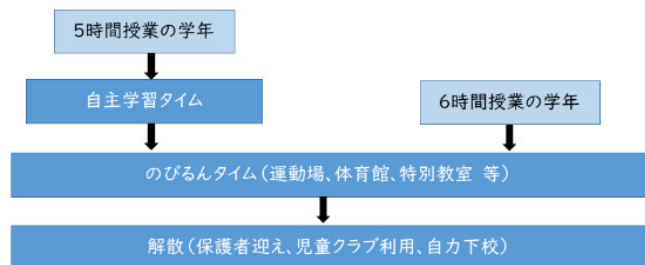


【アカデミー】プログラミング教室

体験活動には外部から講師を招聘し、外部講師の体験活動内容に応じて、「スポーツ」「カルチャー」「アカデミー」のカテゴリーに分け、市内全52校での体験活動を実施することに加え、現場指導員（リーダー・サブリーダー）による、「指導員企画」教室も用意しました。

## ②活動スケジュール

「のびるん de スクール」で実施する活動は、すべて放課後の教室を活用して実施しています。そのため、子どもたちは授業を終えるとそのまま「のびるん de スクール」の活動場所へと移動できることが利点です。5時間授業の学年は、まず「自主学习」に取り組み、その後、6時間授業を終えた学年と合流して「のびるんタイム」（体験活動）を実施します。実施終了後の下校方法は、「保護者迎え（自宅から徒歩での迎えが原則）」「自力下校（自分で通学路を歩いて帰宅）」「児童クラブへの移動（のびるん de スクール指導員が児童クラブまで引率）」があり、それぞれの方法に分かれて解散します。

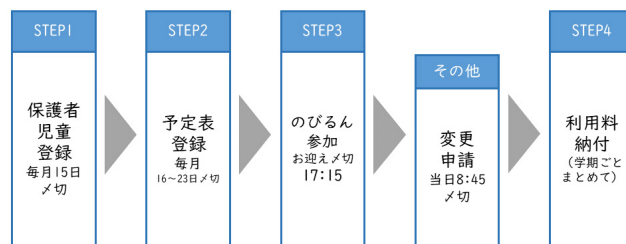


## ③参加手続き等の流れ

「のびるん de スクール」の参加については、市内の全児童が対象ですが、参加するには事前の登録（無料）が

必要になります。スマートフォン等から市のホームページを検索してもらい、「のびるん de スクール専用ページ」から「保護者・児童情報の登録」が済むと子どもは参加できるようになります。次に保護者は、子どもがどの体験活動に参加する予定なのかを事前に登録してもらう「予定表の登録」や「日々の出欠席変更申請」を行います。子どもが参加するまでに手間のかかる作業を保護者に多く依頼するようになるかもしれませんが、これらの作業は子どもの安全を確保するために必要不可欠な作業だと、本市では考えています。子どもたちの放課後の動きについて、運営側も保護者もしっかりと把握できることが大切であり、保護者への安心感につながります。こうしたなか、少しでも保護者への負担軽減を目指し、令和5年度から、「kintone システム」を導入しました。これにより、従来利用していたシステムより情報連携の円滑化が図られ、「利用しやすい」、「わかりやすい」という保護者の感想をいただくことができました。本市への問い合わせも昨年と比べて大幅に減少しており、「kintone システム」の導入は、保護者の負担を軽減するうえで大きな効果があったと考えています。

また、「のびるん de スクール」は参加1回につき300円の利用料金がかかります。こちらは、それぞれの子どもの利用回数と利用合計金額を計上し、学期ごとまとめて保護者に利用料をお支払していただきます。令和4年度までの支払い方法は銀行や郵便局での振り込みに限定されていましたが、令和5年度からは、コンビニ決済またはスマートフォン決済にて支払うことを可能にしました。なお、本市が認可している児童クラブに通っている子どもたちは、この利用料金は無料になっています。



## ④活動保険料

「のびるん de スクール」は体験活動を重視しているた

め、活動中にケガ等が発生することが予想されることから、年間 800 円の活動保険への加入を必須としていました。しかしながら、年間を通じて1~2回しか体験活動を利用しない場合でも保険加入が必要になることから、保護者にとって負担になっているという反省から、令和5年度には、市で一括して「のびるん de スクール」に関する活動保険に加入することとしました。このことも、「kintone システム」の導入と同様、保護者の負担軽減を進めています。

#### ⑤ 「のびるん de スクール」のスタッフ

各スクールには、現場を統括する「指導員リーダー」が1名、指導員リーダーの業務の補助を行う、学校規模に応じた数の「指導員サブリーダー」を配置しています。また、これらの指導員をサポートする「サポーター」を、シルバー人材センターから派遣してもらい、配置しています。上記の常時スタッフに加え、体験活動を担う「外部講師」もあり、元プロバスケットボール選手から医療従事者、ラジオパーソナリティと、法人から個人まで多種多様な講師を揃えています。

指導員に資格要件は設けていませんが、教員OBであるコーディネーターが現場を巡回したり、年に数回研修会を実施するなど、指導員の育成を行っています。そのほか、各スクールの運営面や管理面を補助するマネージャーもこの事業を大いに支えています。

#### ⑥ 新・放課後子ども総合プランの実行

本事業の活動は、学校の理解を得ながら学校施設（体育館、音楽室、図工室、普通教室等）をフル活用しています。また、「のびるん de スクール」参加後に、「児童クラブ」へ行くことを希望する児童については、「のびるん de スクール」指導員が児童クラブまで引率し、児童クラブ支援員に引き渡しをしています。児童クラブへ毎月の出席者一覧の提供も行っており、互いに子どもの安全・安心を第一に協力し合って、連携をしています。

## 2. これまでの成果

本事業を遂行していくにあたり、これまでの成果を、以下のようにまとめました。

### (1) 地域を支える大人の輪が広がった

「のびるん de スクール」の外部講師や地域の大人からなる運営スタッフは約 600 人おり、各スクールにて、子どもたちと活動し、交流を深めています。これまで、「地域の活動=校区の活動」という概念がありましたが、「のびるん de スクール」は、豊橋全体の大人が、豊橋全体の子どもたちの成長に貢献したいという思いをもったスタッフが集まり、一丸となって活動を進めることができます。「地域は校区」から「地域は豊橋全域」という考え方に変わった事業であると考えます。

#### 思いがけなかった成果

#### ① 地域を支える大人の輪が広がった



### (2) 親子の交流が深まった

「のびるん de スクール」に参加するためには事前に予定表を登録する必要があります。どの活動に参加しようか、児童と保護者間でのやりとりが自然と生まれます。保護者からは、「帰り道に、「のびるん de スクール」の報告を聞くことが私の楽しみです。」などの声を頂いています。「のびるん de スクール」での体験活動を子どもが親に話すという流れが自然にでき、親子の交流の深まりを実感しています。

## 思いがけなかった成果

### ②親子の交流

保護者宛アンケートの結果から・・・

「のびるんのおかげで親子の会話が増えた」

「いつも子どもから体験活動の報告があって嬉しい」

「お迎えの帰り道にのびの話聞くのが私の楽しみです」



## 思いがけなかった成果

### ④不登校等児童への支援

「不登校児童が、のびるndeスクールがきっかけでまた学校に通えるようになった」

「不登校気味の児童がのびるndeスクールには楽しく参加できる」

「のびるndeスクールだけの参加は可能ですか？」

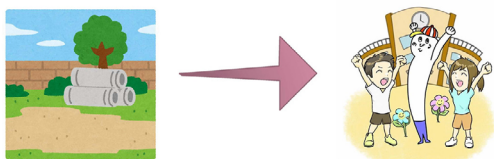


### (3) 放課後の豊かな体験が復活した

かつて、子どもたちは放課後に公園や空き地に集まって遊んでいたと思います。学校外の空間で仲間づくりや遊びの工夫を子どもたち自身でできていました。「のびるndeスクール」は、公園や広場が、学校に変わっただけだと捉えています。普段味わうことのない貴重な体験活動の場が復活できていると感じています。

## 思いがけなかった成果

### ③放課後の豊かな体験の【復活】

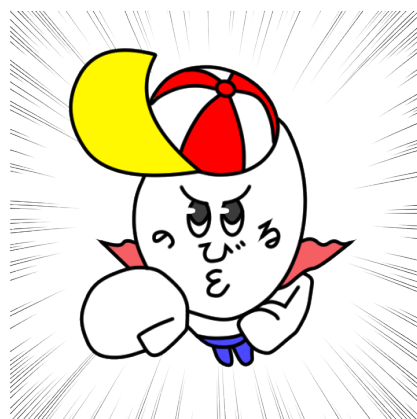


### (4) 不登校等児童への支援の一助になっている

学校に行きづらさを感じている子どもが、「のびるndeスクール」には参加することができたという実例が数件あります。学校の授業とは違った視点から子どもの興味関心を広げるカリキュラムや、他クラス・多学年の子どもたちとの交流の中で実施する「のびるndeスクール」の環境が、子どもにとって参加しやすいと感じてもらっているのかもしれません。今後も、学校の不登校等対策の一助となるように本事業を進めていこうと考えています。

## おわりに

本事業は多くの思いがあって始まった事業ですが、何よりも「未来ある子どもたちのために!」という思いのある大人たちがいて立ち上がりました。ゴールデンエイジと呼ばれる年代の子どもたちの吸収力は計り知れず、この貴重な限りある時期に、放課後のわずかな時間を使って、1つでも多くの体験を子どもたちに提供し、多くの得意を発見・発掘し、可能性の幅を広げていってほしいと考えます。今後も、放課後教育の充実を図ることで、本事業目的である子どもの健全な育成が促進されるとともに、子どもの豊かな体験活動が展開できるよう、取り組みを推進していきたいと思っています。



「のびるndeスクール」マスコットキャラクター:のびたろう  
豊橋市「のびるndeスクール」ホームページ  
<https://www.city.toyohashi.lg.jp/42190.htm>